

平成二十六年 申さん酉さん達の田作り

～ 第九期大椎っ子田んぼ 第六期あすみっ子田んぼ 田植え編 ～

シュレーゲルアオガエルがさかんになく4月20日、学校田んぼの苗代を作りました。その苗も大きくなり、5月22日には田んぼの中の草取りや畦の整備をご父兄のボランティアさんで行ない、田植え準備が整いました。あすみっ子は5月29日、大椎っ子は6月5日に田植えをしました。今年は田植えをする前に全員で田起こしならぬ田踏みをしました。慣れぬドロ田んぼに緊張しているのか、気持ち悪いのか恐る恐る田んぼに入っていました。すぐに歓声があき、にぎやかな声が谷津に広がりました。今年も学校田んぼ始まりました。地域のみなさん、先生方、ボランティアのご父兄の方々と子どもたちの作業を見守っていきます。よろしくお願いいたします。

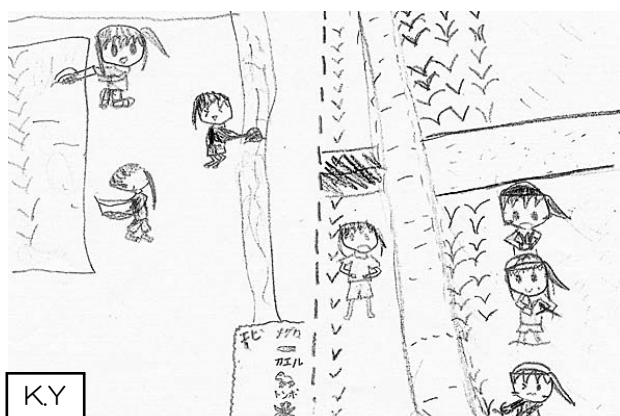
◆大椎小学校

☆まず、ぼくは田んぼに入ってヤゴのとても小さいのやタニシなどをみつけた。田んぼにはとても多くの生き物がいるのだなと思った。田んぼの中がふとももにつかるくらい深いところもあって、田んぼから出たら泥だらけになった。田植えでは、1人12本植えた。最初の方は上手にできなかったけれども、最後にはだいぶ上手に植えることができた。なんとこの田んぼには千葉市にはいなくなってしまうという虫もいるらしい。ケガなく、無事に終わられてよかった。(T.S)

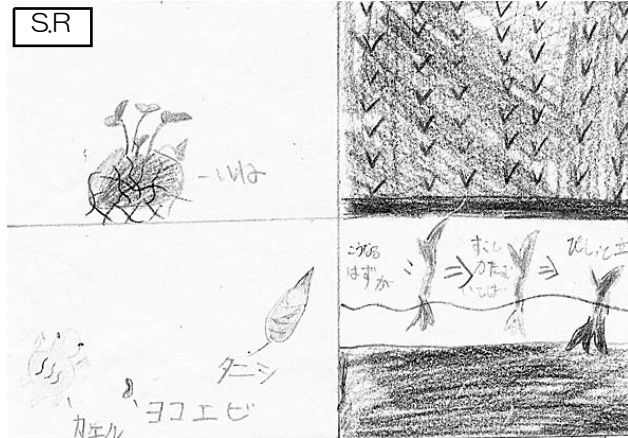
☆最初はよごれるのがいやだったし、田んぼの中にはいつでもねちょねちょとしていて気持ち悪かったです。だけど、ずっと入っていたらなれてきました。田植えをした田んぼはすごく深くてひざのあたりまでどろがあって、歩くことや動くことだけでせいいっぱいでした。自然観察では大きいカエルをみつけたのでつかまえようとしたら逃げられましたが、草のところにいたカエルをつかまえることができました。田植えや自然観察といった貴重な体験ができました。(M.H)

☆最初に田んぼの中のどろをふんでやわらかくする作業では、虫がたくさんいそうでした。苗をもらいましたが、この苗で本当にお米ができるのかなと思いました。つぎは苗を1本ずつ分けて植えました。最初はうまく立たせることができず、苦労しました。自然観察では、くわの実を食べたり、ヤゴやオタマジャクシ、カエルやメダカをみつけました。カエルは苦手だったけど、好きになれました。高山さんが絶滅危惧種の生き物を見つけたり、大きなアカガエルをつかまえて見せてくれました。(Y.A)

☆人生で初めての田植えをしました。初めてでわからなかったけど、武井さんが教えてくれたので、自分ではうまくできたと思います。私が一番話したいことは、田んぼの中にいたメダカやカエルやめずらしい生き物たちのことです。まず、千葉ではほとんどいないと言われているホトケドジョウがこの谷津にひそかに暮らしているそうです。まだだめずらしいいきものがあるそうですが、私はみつけられませんでした。ほかにも、私たちの家のまわりにはアマガエルですが、谷津には二ホンアカガエルがたくさんいます。私も13匹もつかまえました。また、水中をじっとみると小さなメダカがたくさんいました。学習に使うためのメダカを貸してもらいました。(MA)



SR



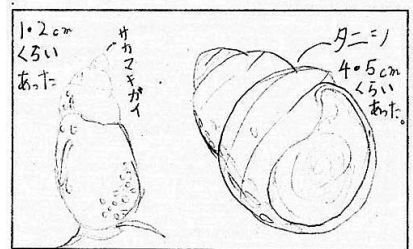
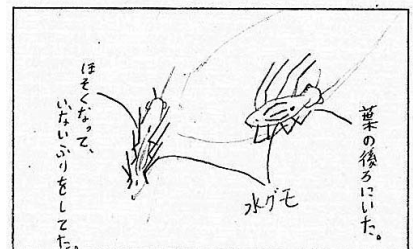
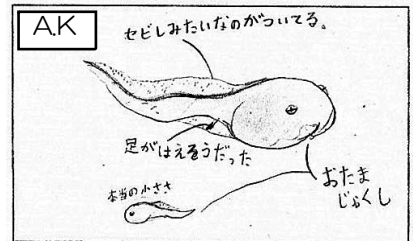
☆最初、田んぼの中に入るのにていこうがあったけど、だんだんなれてきて気持ち良いと感じた。苗の束をもらい、1本ずついねいに植えた。束から1本ずつとるのがなかなかむずかしくて根が切れてしまいそうだった。でもなれて最後はスムーズにできた。田植えをしてくれた武井さんが「今日は田んぼの中のたくさんの生き物を殺してしまっているのだから感謝してご飯を食べなさい。」とおっしゃっていた。今までも言っていたが、「いただきます。ごちそうさま。」を心をこめて言おうと思った (S.M)

☆田んぼに入って土をふんだとき、ぐちゃぐちゃしていて気持ち悪いうえにとてもくさいにおいがありました。自然観察の先生の赤シャツ

おやじさんが、「これは田んぼの深いところにある有機物というものがくさって出るにおいて、稲はこれを食べて育つんだよ」と教えてくれました。田植えでは、苗を1本ずつなかなかとれなかったけど、なれてくるとすぐにとれるようになりました。自然観察ではたくさんのカエルやオタマジャクシを見つけました。最後に「田植えをすると、田んぼのなかにはたくさんの生き物をあやめてしまうけれど、田んぼをつくることで増えていく生き物もいる」というお話を聞きました。これからは心をこめて「いただきます」や「ごちそうさま」をきちんとおもうと思いました。(K.A)

◆あすみが丘小学校

☆田んぼで苗を植えるのはこれで4度目くらいです。幼稚園のころはどろのかんしょくがいやで、あまりできませんでした。でも、あすみ田んぼのはとてもかんしょくがよくて、すぐにはないけど、なれました。田んぼを平らにしていた時は、深い所や浅い所があったので、バランスをくずして転びそうになりました。田植えをするのはやっぱりむずかしいけど、なれると簡単なのがわかりました。谷津田はめずらしいのが知れて、その田んぼに使われている水は山から出ているわき水で、わき水は山を下ってあすみ田んぼに使われているのがわかりました。次は何をやるか楽しみです。(A.K)



☆私は田植えをしたのは2回目でした。前に植えた時はとても浅い所でやったのでとてもやりやすかったけど、今回の田植えは底なし沼があつてとても怖かったし、歩きづらくてむずかしかったです。でも、楽しかったです。武井さんが「農作業は微生物の命をあやめることだ」と言っていました。でも、その命が私達の命になるので、ごはんを食べる時は「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさまでした」と、きちんとおもうと思います。(H.R)

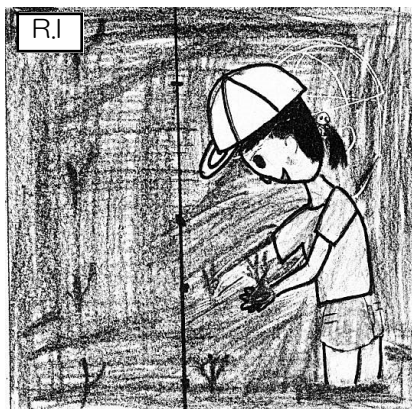
☆僕は田植えをさせてもらっている時、たくさんの事を知りました。田んぼをたがやす時、深い所や浅い所がわからなくて転びそうになりました。稲を植える時にかたまりをほぐす時、なかなかはなれませんでした。でもその時、「田植えをしてる人はすぐにとれるんだろうな」と思いました。まだ草取り、稲刈りなどいろいろな仕事があるけど、がんばって稲を育て、早く大きくなってほしいと思いました。(Y.N)

☆初めにしろかきをしました。一歩ふむと何万匹の微生物が死んでしまうと聞いてとてもびっくりしました。田んぼの土はとろとろしていました。私の入った一番深かった所は私のひざ以上ありました。びっくりしました。自然観察でわたしが見た生き物は、おたまじゃくしの進化中、かえるとめだかとタニシを見ました。ザリガニも見つけたです。男子たちが「いたっ」と言っていました。いよいよ田植えで、9本植えました。1本に分ける時「プチッ」と音がならないように気をつけてゆっくりと分けました。植え方はとてもむずかしかったです。ちゃんとできているか心配です。私のおじいちゃん、おばあちゃんの家でも毎年お米を育てていて、機械で植えているけど、はしっこの方は手で植えているので、来年手伝ってみたいです。とても楽しかったです。(U.I)

☆田植えのやり方を聞いた時に今すぐやりたいと思いました。どろの中に入ったら、思っていたよりもすごくやわらかくてぐによくよしていました。また、すごくたくさんの虫がいてびっくりしました。苗をわるときにとつてもしんちょうにわりました。最後まで「やるぞ」という気持ちを持ち続けました。「やるぞ」や「がんばるぞ」という気持ちも持ち続けることで新しい気持ちが生まれるとわかりました。とても楽しかったです。

ありがとうございました。(K.O)

☆田んぼで苗を植えたりどろだらけになるのは初めてだったので、とても楽しかったです。苗を植えたりする時には、1本ずつ指から土に手を入れるという、ちょっとたいへんな作業でしたが、みんなでやって、予定より早くできて良かったです。自然観察では、おたまじゃくしやミズグモやカエルやめだかやアメンボやタニシなどのたくさんの生き物を見て良かったです。特に、ミズグモやめだかはお店以外で初めて見たので「田んぼにもいるんだな!!」と思いました。特にびっくりしたのは、ミズグモがアメンボより水面での進み方の速さが速くて、とてもびっくりしました。めだかはお店などで売っているのより、3、4倍大きく、ちょっとのろまです。おかげで、すででつかまえることができました。土の近くにいました。次に行った時はもっとつかまえられるようにしたいです。(S.A)





里山たんけんレポート

第185回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2015年6月7日(日) 晴れ
 林内ではカミキリムシなどがたくさん出ていました。倒木や枯れ枝を整理、積み上げた材に産卵に集まっています。こども達は目が良くてたくさん見つけてくれて9種ものカミキリムシを記録しました。カミキリ探ただけで終わってしまいそうなので、午後から自由時間の中で探してもらうことにして林縁を巡りました。トンボはシオヤトンボ、ニホンカワトンボに代わってシオカラトンボが優勢になっています。オオアイトトンボが発生し始め、ヤマサナエはまだまだ元気していました。チョウは12種を記録しました。バッタの仲間成虫越冬のツチイナゴ、クビキリギスは成体ですがヒメギスなど他のものはまだ幼体でした。ニホンアカガエルの仔ガエルは畦を跳ね、シュレーゲルアオガエルの子ガエルの早いものはもう葉の上にちょこんと載っていました。鳥では千葉県鳥のホオジロが囀っている姿をスコープでじっくり見ることが出来ました。ホトトギス、ウグイスの他、キビタキの囀りも聞けました。生きものが多く、歩が進まず超短縮ルートを巡ることになった観察会でした。観察会終了後サンコウチョウが東屋の上で囀りました。木々の間を飛び姿がちらっと見えました。
 (参加者 大人18名、高校生3名、小学生6名、幼児3名; 報告: 網代春男)

第177回 下大和田 YPP「田の草取り」(兼、第5回米づくり講座)

2015年6月13日(土) 晴れ

梅雨の中の晴れ間、たくさんの方の参加がありました。田の中の草は午前中にはすっかり取り終え、午後は歯抜けになったところへ苗を補植しました。こども達は今日も魚獲りに夢中になっていました。クサガメも出てきました。昼休みには各種カエルの鳴き声比べなどで楽しみました。
 (参加者 大人21名、小中学生15名、幼児4名、報告 網代春男)



第120回 小山町 YPP「古代米の田植え～ぼーと1」

2015年6月13日(土) 晴れ

前の週に学校田んぼの田植えをした大椎小学校の子どもたちや親御さんが参加し、久しぶりに大勢の声でにぎやかな田植えになりました。最初に田んぼの草取りをしました。太い株に育っていたガマを抜くのは相当な力が必要ですが、男の子達が張り切って次々に抜いてくれました。勢い余って尻もちをついて泥んこになる子も。植えたのは黒米と赤米。たくさんの方であっという間に植え終えることができました。時間があつたので、まだ植え残っているコシヒカリを植える田んぼの草取りや田植えまでできました。一気に田植えが進んで大助かりでした。



久しぶりのにぎやかな田植え (撮影: 6/13 柳町健治)

(参加者 大人13名、小学生15名、幼児2名 報告 高山邦明)

第121回 小山町 YPP「古代米の田植え～ぼーと2」

2015年6月21日(日) 雨

朝からあいにくの雨。コシヒカリと黒米、赤米の田植えを終え、残るのは緑米を植える田んぼ3枚です。この季節になると田んぼには、イボクサやミノソバ、ヘラオモダカなどがピッシリはびこっていて地面が固くなっています。植える前に二人で田を起こしながらの草取りをし、もう一人が田植えをしました。何とか6月中に田植えを終えなければとがんばりました。
 (参加者 大人3名 報告 高山邦明)

※その後、平日や週末に草取り・田起こし、田植えをして、6/29に今年の田植えを完了しました。

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 6月 5日 オオシオカラトンボが飛び始める(高山)。
6月 6日 ノシメトンボの姿を初めて見る。キビタキがさえる(高山)。
6月 13日 ヒラオモダカやヒシが咲き始める。オオイトトンボが田んぼのあちこちで産卵(高山)。
6月 21日 ノシメトンボが多数飛び、コシアキトンボやギンヤンマの姿も。カブトムシの死骸を見る(高山)。
6月 27日 マユタテアカネが田んぼから次々羽化。オモダカが開花(高山)。
6月 29日 ニイニゼミの声を聞く(松下)。

下大和田

- 6月 7日 観察会終了後、東屋の奥でサンコウチョウが鳴いていた(網代)。
6月 10日 イチャクソウが咲き始めた(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第178回下大和田 YPP「あぜの草取り」(兼、第6回米づくり講座)

6月に続いて、田んぼやあぜの草取りをします。コシヒカリの穂が出る前になるべく田んぼをきれいにし、イネの生育の手助けをしましょう。

日時: 2015年7月18日(土) 9時45分~14時 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのかばフラワーバスで45分<千葉駅発8:25、8:40など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴(田んぼが泥深いので長いもの)、帽子、軍手、敷物。

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第187回下大和田8月の谷津田観察会とごみ拾い

夏の虫の季節です。カブトムシ、クワガタムシ、セミ、トンボたちと一緒に時を送りましょう。

日時: 2015年8月2日(日) 9時45分~12時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田YPPに同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時: 2015年7月12日(日)、7月17日(金) いずれも9時45分~15時

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上) 持ち物: 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催: ちば環境情報センター

▼第122回小山町 YPP「田んぼの草取り」

コナギなど田んぼに生えた草取りをします。

日時: 2015年7月12日(日) 10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 小山の田植えも6月中にすべて終えることができました。“半夏生-今年は7月2日-前に田植えを終わらせるべし”という昔からの言い伝えを守ることができてホッとひと安心と思いきや、先に植えた田んぼにはコナギやヘラオモダカなどの雑草が次々と生えていて、のんびりしてられません。穂が出始めるまで、農繁期はまだまた続きます。(高山 邦明)